

葛飾区都市計画マスタープラン地域別まちづくり勉強会のまとめ
第2回勉強会

開催日時	平成21年9月6日 午後1時半～4時半
開催場所	ウィメンズパル 多目的ホール、視聴覚室
テーマ	地域において守り育てる点、改善すべき点 現都市マスの地域の将来像、基本方針に対する修正・追加事項 これからの街づくりにおける重要テーマ

1. 地域において守り育てる点、改善すべき点

守り育てる点	<p><水・みどり></p> <ul style="list-style-type: none"> 水とみどりの資源を守り育てたい。 河川空間、水元公園、農地など、水とみどりの環境がとても良い。農地を守るためには、農業を続けたい農家への支援も必要である。また、農地は災害時の一時的な避難ができる空間としても大切である。 <p><住環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ゆとりのある住環境を守り育てたい。 比較的ゆとりのある敷地の住宅地が広がり、農地もその中で残っており、良好な住環境が形成されている。 	
改善すべき点	土地利用	<ul style="list-style-type: none"> 相続により農業が継続されず、小規模な宅地化が進んでいる。農地の保全や宅地化の際の適正な基盤整備が必要である。
	道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> 幹線道路網の整備が遅れている。中川の橋（補助138号線）も早く整備してほしい。アイリスバスの路線が都営住宅のところの幅員が狭い箇所があるので整備が必要である。 歩行者や自転車の通行が危険なところもあり、安全対策が必要である。 岩槻街道から水元公園に向かう道路が狭い。
	緑・オープンスペース・川	<ul style="list-style-type: none"> 水害対策の強化と中川沿いの水辺の活用が必要である。 中川沿いの水辺がネットワークされていない。現在の西水元水辺の公園からつづく遊歩道や、子供たちが遊べる場所があると良い。水辺沿いに桜並木があっても良い。 中川の堤防強化など、治水対策は重要である。 公園のごみの散らかし、落書き、ボール遊びによる窓ガラスの破損など、公園の維持管理が問題である。見回りを行っている地域もあるが、住民はもっと地域活動に参加すべきである。
	住宅・住環境	<ul style="list-style-type: none"> ゆとりのある住環境の維持が必要である。 ミニ開発が増え、20坪程度の住宅や隣棟間隔のない住宅等が増えている。 町会への加入者を増やすべきである。中高生による公園の使い方が乱れていること、住宅地のごみ集積場の場所の問題など、協力しあう関係が良好な住環境を守るものとする。 小学校区単位での地域活動も重要である。 水元地域の北側や東側は基盤が整っていないので整備（区画整理事業等）を進めてほしい。
	その他	
その他		

2. 現都市マスの地域の将来像、基本方針に対する修正・追加事項

現都市マスの項目・内容		修正・追加事項
地域の将来像	水元公園の豊かな緑・水辺と調和した都市の快適性が享受できる住み良いまち	
まちづくりの方針	緑豊かでゆとりある良好な住環境の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な住宅地にするためには、建物の建て方のルールが必要である。例えば、最低敷地面積、隣棟間隔の確保、色彩の調和などであり、震災時の避難を考えると、ブロック塀は倒壊の危険があり、ブロック塀の制限は特に重要である。生垣やアルミのフェンスであれば、見通しも良く防犯にも効果がある。 ・また、良好な住宅地を維持するためには、良好なコミュニティ形成も重要である。
	豊富な自然・歴史資源を活用した水と緑豊かなまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・水防、防災についての方針も示して、水と緑豊かなまちづくりの方針にした方が良い。 ・中川沿いの水辺のネットワークづくりも必要である。
	適切な交通ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路などの幹線道路の整備として、歩行者や自転車の安全性の向上も必要である。 ・西水元から水元公園に向う道路が狭く、交通の流れが悪いので、未整備の都市計画道路の早期整備が必要である。 ・中川を渡る橋が少ないので、未整備の都市計画道路の早期整備が必要である。
	賑わいのある身近な買物空間の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街は、日常の買物等に必要であり、また祭りもあり、地域の生活や交流を支えてほしい。 ・体育館やプールの建替えなどによる健康づくり拠点は、地域の生活や交流を支えるシンボリックな拠点にしてほしい。

3. これからの街づくりにおける重要テーマ

テーマ	内容
水防・防災	<ul style="list-style-type: none"> ・中川の堤防強化などが必要であり、この地域では水防対策が重要である。 ・広域避難場所として位置づけられている水元公園に行くための避難経路の確保も重要である。特に岩槻街道から水元公園までの間には広い道路がない。

葛飾区都市計画マスタープラン地域別まちづくり勉強会のまとめ
第2回勉強会

開催日時	平成21年9月6日 午後1時半～4時半
開催場所	ウィメンズパル 多目的ホール、視聴覚室
テーマ	地域において守り育てる点、改善すべき点 現都市マスの地域の将来像、基本方針に対する修正・追加事項 これからの街づくりにおける重要テーマ

1. 地域において守り育てる点、改善すべき点

守り育てる点	<p>< 緑・オープンスペース・川 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・都立水元公園は、今後も拠点的な公園として活かしていきたい。 ・小さな公園ではあるが、当地域には公園が多くあり、静かで区民の憩いの場となっている。今ある公園を維持、活用していきたい。 ・水元公園を含め、自然環境のよさが残っている地域である。 <p>< 住宅・住環境 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去に耕地整理された街区は、住みよい住環境である。今後も、このすみよい住環境を維持していきたい。 ・観光資源（柴又帝釈天が隣接）癒しの場（都立水元公園）が点在し、都市部でありながら良い居住環境であること。
改善すべき点	<p>土地利用</p> <p>< 中心市街地：金町駅周辺 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度利用がされていない。 <p>（住宅地：新宿6丁目再開発）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・むやみに超高層マンションを建設すべきではない。開発地周辺の住民の合意を元に高さ制限を考えるべきである。 <p>< その他 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・金町浄水場、新金線が地域を分断している 地域をつなぐ工夫が必要
	<p>道路・交通</p> <p>< 身近な生活道路 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路が狭く、危険な箇所が多い。道路拡幅してほしい。（中川沿い堤防道路、金町駅前のイトーヨーカドー前等） ・水元公園内の道路を相互通行に出来ないか。 <p>< 公共交通 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設、観光資源を結び、地域を巡る循環バスを走らせられないか。地域住民の利便性向上、地域の活性化につながる。 ・南北方向の交通網として、新金線を活用できないか。（新交通等）
	<p>緑・オープンスペース・川</p> <p>< 身近な公園 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さな公園は地域にたくさんあるが、うまく活用されていない。街区公園等をうまくネットワークして活用できないか。 ・新宿小学校近くの三角公園が危険である。 <p>< 緑のネットワーク ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・江戸川、中川の沿川に自転車道の整備が出来ないか。水元公園、金町駅、柴又帝釈天等を結び、観光・レクリエーションネットワークとしたい。
	<p>住宅・住環境</p>

	その他	<p><安全・安心></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当地域は土地が低く、水害の際、逃げられる場所が無い。 新宿6丁目再開発で開発する公園（約7ha）を盛土し、避難場所に出来ないか。 ・金町駅周辺では、細街路が多く、防災の面で不安である。 ・生活道路や通学路には、街路灯を整備してほしい。
	その他	<p><まちづくりについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいまちづくりには多大な時間を要するため、修復型のまちづくりが重要である。 ・老、青、幼のバランスの良いまちづくりが見えない。 ・まちづくりの話し合いをする場に若者が出てこない。

2. 現都市マスの地域の将来像、基本方針に対する修正・追加事項

現都市マスの項目・内容		修正・追加事項
地域の将来像	交通の要衝として活力ある広域生活拠点の形成とこれを取り巻く良好な住環境のまち	
まちづくりの方針	賑わいと活力のある中心市街地の再生	<ul style="list-style-type: none"> ・再開発、大学移転を契機に新しいコミュニケーションの創造をしていきたい。 ・交通結節点となる金町駅の利便性を向上させたい。 千代田線の金町までの延伸（現状では、綾瀬から別料金になってしまう。） バスの乗り継ぎの利便性を向上させたい。（上野方面へのバス等） 新金線の活用。（金町駅が発発となる。人を優先した運用。）
	三菱製紙工場跡地の再開発による新たな拠点の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・再開発により建設した超高層マンションが、将来スラム化にならないようにすべき。 将来入居者の経済格差が起こり、建て替えが困難になるはずだ。 ・再開発地周辺での、大規模マンションは抑制すべきだ。（高さ制限も含む） 出来れば、再開発地内でも大規模マンションは建設してほしくない。 ・東京理科大学の図書館と葛飾区内の図書館をリンクし、双方の図書の貸出返却ができるようにしてほしい。 全体構想で反映したい。 ・再開発により出来る公園は、拠点的な公園として、地域の顔にしたい。また、災害時の避難拠点として位置づけたい。 ・水元高校跡地にできるスポーツ施設と東京理科大学をうまくネットワークし、連携を図っていきたい。
	水辺と親しめる公園づくりと観光ネットワークの形成	<ul style="list-style-type: none"> ・金町駅（新宿6丁目再開発含む） 水元公園、柴又帝釈天をうまくネットワークし、観光、レクリエーションのネットワークにしたい。
	地区特性に応じた調和のとれた安全で良好な住環境の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の住環境を維持していきたい。（過去に耕地整理した場所等） ・古い町並みを維持・活用していきたい（新宿5丁目等） ・新宿6丁目再開発に合わせた周辺の住宅地のあり方についての検討

3. これからの街づくりにおける重要テーマ

テーマ	内容
新金線の活用	<ul style="list-style-type: none">・ 当地域の大きな既存ストックである新金線を南北方向の交通軸として活用していきたい。(貨物線の廃止は、代替路線が無いため出来ない旨説明済み)新宿湘南ラインのように、貨物列車の空き時間を活用した旅客化を検討したい。電車を走らせるのではなく、既存路線を活用した新交通システムを検討したい。貨物線が廃止できないのであるならば、鉄道と道路の交差部は、自動車優先とし、鉄道が止まるようなソフト的な対策が必要。

葛飾区都市計画マスタープラン地域別まちづくり勉強会のまとめ
第2回勉強会

開催日時	平成21年9月6日 午後1時半～4時半
開催場所	ウイメンズパル 多目的ホール、視聴覚室
テーマ	地域において守り育てる点、改善すべき点 現都市マスの地域の将来像、基本方針に対する修正・追加事項 これからの街づくりにおける重要テーマ

1. 地域において守り育てる点、改善すべき点

守り育てる点	<ul style="list-style-type: none"> ・知らない者同士でも気軽に交流する下町らしさがまだまだ残っており、こうした街の雰囲気大事にしていきたい。(こういったコミュニティを守り育てていくような仕掛けを行政がサポートして欲しい) ・高砂北公園を周辺とした空間の保全・拡充が必要である。 ・柴又地区・高砂地区共に20軒程度の農家があり、地区内の貴重な農地なので今後も保全していくべき。 ・観光の拠点として、矢切りの渡し・柴又帝釈天・寅さん記念館などの目玉があるので、これらを活かした観光活性化に力を入れるべき。 ・柴又街道の一部区間で整備ができていいる並木空間は美しく、貴重な緑となっている。(住民が中心となって保全活動を行っている) ・中川に隣接する怪無池(けなしいけ)は私有地だが700坪程度と広く、広域から釣りを楽しむ人が集まるような貴重な水辺なので、何らかの形で保全して欲しい。 	
改善すべき点	土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ・高砂団地の建て替えに伴い創出される用地の有効活用に関して、地域のまちづくりの観点からも明確に位置づけていくべきだ。
	道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> ・景観への配慮や交通安全の面からも、道路整備と一体に電線の地中化を積極的に進めるべきだ。 ・住宅街への通過交通の排除をしていくような、人にやさしい道路整備を推進してほしい。 ・地域の骨格になる道路整備がまだ不十分なので、都市計画道路などの整備を促進して欲しい。 ・高砂駅横の開かずの踏切解消と、駅周辺の住宅街における狭隘道路の改善が必要だ。 ・柴又・新柴又駅の放置自転車対策を進めて欲しい。 ・地区内では、新柴又駅のみエレベータが設置されていないので、バリアフリー対策をして欲しい。 ・柴又街道は車道が狭いため、大型車の通行を規制するべき。また、自転車の走行に対して、車道を走らせるのは危険だし、かと言って歩道も歩行者との錯綜が生じ危険である。何らかの対策を早期に講じる必要がある。 ・葛飾区観光文化センター(寅さん記念館横)にはレンタサイクルがあるが、水元公園のレンタサイクルと乗り捨てができるようにするべき。
	緑・オープンスペース・川	<ul style="list-style-type: none"> ・奥戸運動公園(避難場所)へのアクセス性充実が必要だ。

	住宅・住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的低層の住宅街の中に、突然高層のマンションが建ったりして住環境や景観を阻害するようなこともある。こうしたことに対する手だてを講じていくべきだ。
	その他	<p><観光></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新金貨物線を旅客化し、SLなどのイベント列車を走らせるなど、観光に活用すべき。 ・柴又帝釈天周辺は、観光バス等の駐車場の容量が小さく、観光客を取り逃がしているのではないかと懸念があることから駐車場の拡充が必要だ。河川敷の駐車場もあるが、利用客の動線、ネットワークを考えるともっと工夫が必要だ。 <p><文化・歴史></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の中には文化・歴史的に価値のあるもの（例えば、柴又駅近くに八幡様など）を発掘して、できる限り残して欲しい。
	その他	

2. 現都市マスの地域の将来像、基本方針に対する修正・追加事項

現都市マスの項目・内容		修正・追加事項
地域の将来像	柴又帝釈天を中心とした観光拠点の整備と庶民的な商店街が共生した暮らしやすいまち	・高砂駅周辺の街が今後京成線の高架化に伴い大きく変わっていくことが予想されることから、地域の生活拠点的な役割もより重視していくべきだ。
まちづくりの方針	柴又界限を中心とした魅力ある観光拠点の形成と歴史性を重視したまちづくり	・既存の観光資源に加えて、もっと重層的な街の広がりを創り出していくような仕掛けづくり（例えば、街なかに点在する隠れ家的なお店づくり）をしていくことによる街の賑わいをもっと豊かにしたい。
	庶民的で利便性の高い路線型商店街の形成	・帝釈天門前の商店街ばかりがクローズアップされるが、周辺の商店街への回遊性の向上が課題である。（対策として、商店街マップを作成している） ・高砂駅から柴又への歩行者を増やすため、沿道に魅力のあるスポット（個性的なレストランなどの個店）を増やしていくことも重要な対策と考える。
	安全で落ち着いた環境のある住環境の形成	・ひったくりが頻発していると聞くので、安全対策が必要である。 ・震災や水害に対する安全も心配な地域であるので、避難場所の充実や避難ルートの拡充も大事だ。
	水辺と一体的な文化・レクリエーション拠点の形成	・中川に挟まれた奥戸運動公園、地域の中心に出現する高砂団地周辺の公園空間、江戸川沿いの柴又公園周辺など、地域には大きな緑・レク・文化の拠点が存在するので、これらと地域に点在する歴史的文化的資源を活かすようなネットワーク化が図れると良いのではないかと。

3. これからの街づくりにおける重要テーマ

テーマ	内容
高砂駅周辺連続立体交差化事業について	<ul style="list-style-type: none"> ・高砂駅は、成田空港への延伸に伴い北総線のみ高架化されるが、それでは開かずの踏切の問題はほとんど解消されない。 ・北総線の高架化に伴い、京成金町線が（平均で）毎時3本 4本に増発されるが、それでも不十分である。 ・乗換が不便になることが問題である。
矢切りの渡し周辺の船着場について	・江戸川に観光水上バスを導入する計画があったが、具体化していない。問題として、川底が浅いことが挙げられたので、災害時の対策のためにも、川底を浚渫する必要がある。
災害発生時の対策について	・災害発生時に、どこに非難したらよいかわからず、皆が混乱すると思われるので、避難場所への誘導（サインの設置）対策が必要である。

葛飾区都市計画マスタープラン地域別まちづくり勉強会のまとめ
第2回勉強会

開催日時	平成21年9月6日 午後1時半～4時半
開催場所	ウイメンズパル 多目的ホール、視聴覚室
テーマ	地域において守り育てる点、改善すべき点 現都市マスの地域の将来像、基本方針に対する修正・追加事項 これからの街づくりにおける重要テーマ

1. 地域において守り育てる点、改善すべき点

守り育てる点	<土地利用・拠点>	<ul style="list-style-type: none"> 青戸6・7丁目の街づくり：オープンスペースの創出に期待。消防団の本部詰所・倉庫等の防災施設の設置スペースを確保してもらえてありがたい。青戸病院の建替え後が楽しみ。
	<交通>	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の利便性（青砥駅、亀有駅）。 道路交通の利便性（環7・環6）。 環7の2本の地下道。 道路交通安全の向上：青戸地区コミュニティゾーン事業完了。
改善すべき点	<水・みどり・景観>	<ul style="list-style-type: none"> 自然等が豊かな地域：今後はこの特徴を活かした環境づくりを行うべき。 空地を利用した植栽の実施や苗木の配布等の取組。 電線地中化した街路：空が広く感じられる。 曳舟川親水公園：景観資源としてもっと活用。冬は水が流れていない。 亀有桜通りの桜並木：桜の時期はものすごくきれいである。
	<住環境>	<ul style="list-style-type: none"> 静かな住環境が良い（青戸5丁目）。
改善すべき点	<防災・防犯>	<ul style="list-style-type: none"> 駐在所の存在と地域の防犯活動（亀有署ふれあい連絡協議会が年2回以上開催されている）。 中川の水路に恵まれている：災害時に使用できる。
	<その他>	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園、小学校、中央児童館、敬老館などの公共公益施設が充実。 亀有駅前の両さん像：ドラマ化の影響で写真を撮る人も最近増えている。新たな観光名所になる。
改善すべき点	土地利用	<ul style="list-style-type: none"> 東洋インク跡地はどうなるのか。
	道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> 青戸病院周辺の道路が危険。 亀有駅北口の放置自転車対策。バスが通れなくなっている。足立区住民の違法駐輪も多いと考えられ、隣接区と連携した対策が必要。 青砥駅周辺整備。路線バスの乗り入れ等のための駅関連施設整備。 南北方向の公共交通が弱い。新金線の有効活用ができないか。 中川での歩行者専用の橋梁の整備。かつてあった水道管の橋を有効に活用できればよかった。 歩行者の安全確保のための中川堤の道路整備。 亀有新道の電線地中化は、狭い歩道に地上機器が設置されているため歩きにくい。

	緑・オープン スペース・川	<ul style="list-style-type: none"> ・中川での桜堤の整備（かつて桜並木があったので再現してほしい）。 ・中川の堤防に桜を植えるのは良いが、管理のことも考えるべき。誰が管理を行うのか。地域住民が参加した管理の仕組み等が重要。 ・青戸6・7丁目の街づくりでは子ども達が遊べる公園を整備してほしい。 ・環7に蓋をかけて上部を緑地帯として整備してはどうか（大構想）。 ・地域内に狭小な公園が多い（特に住宅開発に伴い設置された公園）。あまり利用されていないため、小規模な公園を分散させるのではなく、集約するなどして規模を大きくすることができないか。
	住宅・住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・住環境形成における縦割行政の排除（都営住宅の場合、都と区で連携がとれていない）
	防災	<ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップでは、水深が0.5～2mに増水した場合に避難するようになっているが、数値に幅があり曖昧。避難の方法も再検討すべき。 ・防火樹を植えてほしい。（合わせて維持管理の仕組みも必要）
その他	コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・青戸6・7丁目の街づくりでは大規模な集合住宅が立地する。新規住民と旧来からの住民の調和・融合を図ることが必要。このことは大規模集合住宅が立地する場合の共通課題。一般住宅と共同住宅の融合が必要。 ・高齢者の方々の外出機会となるようなイベント（特に一人暮らしの高齢者は閉じこもりがち）。
	産業	<ul style="list-style-type: none"> ・亀有駅前の両さん像を活かした都市型観光の振興。現状では回遊性がないため、他に2・3箇所設置すれば回遊性が生まれ、駅前商店街の活性化につながる。
	医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・慈恵病院の建替え後はベッド数が少なくなると聞いている。

2. 現都市マスの地域の将来像、基本方針に対する修正・追加事項

現都市マスの項目・内容		修正・追加事項
地域の将来像	駅前拠点を中心にした商業の賑わいと誰もが快適に暮らせる落ち着いたまち	
まちづくりの方針	活気と魅力あふれる商業環境の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 亀有駅周辺についての記載であるが、全国的に知名度が高い両さん像設置等の取組を踏まえ都市型観光面の拠点として位置付けを与えることが考えられる。 ・ 駅前商店街は低迷しており、アリオに客を奪われている。地域の商店街としての機能が失われている。大型店との共存共栄は難しい状況にある。
	歩行者優先の総合的かつ面的な交通体系づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青戸第一団地周辺が主たる対象となっているが、既に事業が完了していることから、まちづくりの方針の柱の一つからは下ろすことが考えられる。
	地域資源を生かした潤いのあるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資源としては、地域住民にとって実感がわくものを例示した方が良いのではないか(旧東井堀や古隅田川は、わからないのではないか)。 ・ なお、今は地域資源として実感できなくても、痕跡等を手がかりに地域資源として育成、再生するという考え方もある。 ・ 葛西城跡は、現在は城跡を感じられる空間になっていないが、活用すべき資源である。 ・ 中川は地域資源の中でも地域にとって骨格的な存在であり、他の地域資源との並列ではなく、強調することが考えられる。
	周辺環境との調和に配慮した落ち着いたまちの形成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅地域で高層マンションの出現は、地域への影響が大きく、「戸建て住宅と集合住宅が調和」というのであれば高さの規制も必要になる。
	新規 青戸6・7丁目の街づくりを踏まえた柱	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青戸6・7丁目の街づくりは、都市施設の整備や大規模集合住宅の建設に伴う人口増、また、青砥駅等周辺地域も含めて人の流れも大きく変わることが予想されるなどこの地域にとってインパクトが大きいことから、新しい柱として立てることが考えられる。

3. これからの街づくりにおける重要テーマ

テーマ	内容
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水害対策(避難のあり方等) ・ 高齢化への対応 <p>ただし、地域にとっての重要テーマというより、今回のワークショップではあまり話題が出なかった(意見としては出された、がメンバー同士の活発な意見交換には発展しなかった)ので、次回は先生のレクチャーを聞いてじっくり意見交換を試みようという意味合いが強い。</p>

葛飾区都市計画マスタープラン地域別まちづくり勉強会のまとめ
第2回勉強会

開催日時	平成21年9月6日 午後1時半～4時半
開催場所	ウィンメンズパル 多目的ホール、視聴覚室
テーマ	地域において守り育てる点、改善すべき点 現都市マスの地域の将来像、基本方針に対する修正・追加事項 これからの街づくりにおける重要テーマ

1. 地域において守り育てる点、改善すべき点

守り育てる点	<ul style="list-style-type: none"> ・下町の風情（一つの文化） 古臭く見える場合もある ・地域の間人づきあいがある もうあまりないのではないか ・路地的な空間 ・東立石河川緑地公園がある ・区役所周辺は、公共公益施設が集まっており、生活利便性が高い ・身近な場所に買物ができる場所がある（減ってきている） 	
改善すべき点	土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な買物ができる商店がなくなってきている。 道路の拡幅などを契機に店がなくなってしまっている。 高齢化の進む中で、身近な買物の場が必要だ。離れたイトーヨーカドーなどへ行くのは大変だ。
	道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> ・避難のための道路が必要だ。 東立石地区～荒川河川敷方面 東立石地区の南北方向 中川を超えての避難
	緑・オープンスペース・川	（防災の問題として、住宅・住環境に記載）
	住宅・住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・下町風情がなくなってきている。 ・市街地の防災性を高めることが必要だ。 立石駅周辺 / 東立石地区 / 東四つ木地区 建物の耐震化が必要だ ・水害への対策が必要だ。 しっかり避難できるかどうか心配だ。 浸水の程度を普段から分かるようにしてはどうか（電柱に浸水履歴をもっと目立つように表示するなど） ・どこに避難できるかが分からない 避難場所を分かっている人が少ない。 ・高齢者への対応が必要だ 高齢者が増え、地域での見守りが困難になってきている
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・これからは環境共生という視点でのまちづくりが必要ではないか 	
その他	<p><まちづくりの進め方について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・負担のかかる生活者の生活再建を第一に考えるべきだ ・補償を含めた生活再建をしっかりと行うことが、計画の実現に欠かせない <p><まちなみなど></p> <ul style="list-style-type: none"> ・下町の風情が、市街地の整備や超高層マンションの建設でなくなってきている。 	

2. 現都市マスの地域の将来像、基本方針に対する修正・追加事項

現都市マスの項目・内容		修正・追加事項
地域の将来像	区の中心部としての活力を持ち、文化と暮らしとなりわいが共生する、活気あふれる安全なまち	(区全体を含めて) <ul style="list-style-type: none"> ・ 現行計画の内容は、大きな見直しは必要ないと思う。現行計画の評価をしっかりと行い、実現できていないものはなぜ、できないのか、明確にすべきではないか。 ・ 区全体のまちづくりの方向性を踏まえて、地域で検討すべきこともあるはずだ。
まちづくりの方針	防災性を重視した魅力と活力に満ちた住工調和型の市街地の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工場がなくなってきている。「工」という言葉が適切かどうか。 ・ 残っている工場が維持できることが必要だろう。 ・ 工場跡地にマンションが建つことが多く、『マンションとの調和』という観点が必要になってきている
	魅力ある行政・コミュニティ拠点の形成と拠点間、地域間ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ “右肩上がり”の発想のもとでの計画ではないか。構想路線が方針図に図示されているが、本当に必要な道路なのか。広い幅員の道路は、高齢者の横断が難しく、地域を分断しかねない。 ・ 東立石地区を南北に抜け中川を超える構想道路は、防災の面から必要と考える。 震災で火災がおき、北風が吹いたら中川を渡ることができずに、焼け死んでしまう。 ・ 地域の状況に応じた道路づくりを多角的に検討すべきではないか。 ・ 広い幅員の道路でも、歩道が整備できるなど、利点もあると思う。
	京成押上線の連続立体交差事業と合わせた周辺まちづくり	
	中川の親水性の確保などアメニティ性の高い、水辺と一体的なまちづくり	

3. これからの街づくりにおける重要テーマ

テーマ	内容
安全・安心	防災面から検討する。
まちなみ	超高層住宅が建つことが、地域や区にとって本当に良いことなのか検討すべきではないか。

葛飾区都市計画マスタープラン地域別まちづくり勉強会のまとめ
第2回勉強会

開催日時	平成21年9月6日 午後1時半～4時半
開催場所	ウィメンズパル 多目的ホール、視聴覚室
テーマ	地域において守り育てる点、改善すべき点 現都市マスの地域の将来像、基本方針に対する修正・追加事項 これからの街づくりにおける重要テーマ

1. 地域において守り育てる点、改善すべき点

守り育てる点	<p><小菅・綾瀬川の西側地域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東武伊勢崎線小菅駅、常磐線綾瀬駅の2駅へ徒歩で行ける便利な地域。 ・自動車の交通量が少なく、子どもやお年寄りが安心して歩ける。 ・昭和の香りがするまち。静かで住みよい。 ・東京拘置所は小菅の歴史の一部であり、シンボルだった時計台を記念館にして、「小菅歴史資料館」として欲しい。堀切菖蒲園とネットワークして活用することにより、地域の回遊性が生まれるのではないかと。 ・西小菅小学校を存続させ、高齢者福祉施設や児童館、学童保育などを併設した地域コミュニティの核施設として、活用していきたい。 ・顔見知りが多く、困った時に助け合えるコミュニティができています。 <p><小菅・綾瀬川の東側地域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小、中学校、児童館、保育園が備わっていて、便利な地域。 ・古隅田川は白鷺が飛来するほどの良好な環境。スポーツ公園もよい。 <p><お花茶屋></p> <ul style="list-style-type: none"> ・曳舟川親水公園は、散歩道としては非常に良い。花や水もあり、季節感も味わえる。夏の水遊び以外に、小魚取りなどが楽しめるとなお良い。 <p><堀切></p> <ul style="list-style-type: none"> ・堀切菖蒲園を中心としたまちづくりができています。菖蒲まつりなどのお祭りは、地域の誇り。 ・堀切菖蒲園や荒川を中心とした水・緑があふれる良好な環境。 ・昔からある用水や橋の名前は、是非残したい。用水は埋め立てられてしまったが、親水歩道のような形で残してほしい。 ・幹線道路から入り込んだ地域のため、車が入り込まず高齢者でも安心して歩ける。 ・地域8町会の連携が取れており、また顔見知りも多く、地域コミュニティが形成できています。
改善すべき点	<p><小菅・綾瀬川の西側地域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に医療機関がなく、川に挟まれた地域のため、高齢者は医療機関に行くのも大変だ。 ・東京拘置所の改築に伴い提供が予定されている2.5haの用地は、医療・福祉施設や商店街活性化に向けた施設用地として活用していきたい。 ・小菅西小学校の廃校はしないで欲しい。 <p><堀切></p> <ul style="list-style-type: none"> ・堀切7丁目の堀切中央通り沿いの地域は、木造家屋が密集している上、生活道路が狭く、基盤整備が遅れている地域。防災面でも不安なので、建替補助などの支援を活用して、早期に解決して欲しい。 ・堀切菖蒲園駅周辺は、京成線の荒川橋梁架け替え、および鉄道の高架化と合わせて、大規模な改善が必要だ。

	道路・交通	<p><お花茶屋></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お花茶屋駅前の駐輪場の収容台数が足りないのではないか。通勤・通学者でいつもいっぱいになってしまう。地下駐輪場ができたが、高齢者には使いづらい。 ・曳舟 13 橋付近の事故多発箇所は、改善が必要。特に、警察は交番を廃止し安全センターに変更したことから、責任もって処理できる人が不在となった。国、都、区、警察がうまく連携して欲しい。 ・補助 264 号線は早期実現を目指してほしい。拡幅が難しければ、無電柱化する方法もあるのではないか。 ・曳舟川親水公園の南側空地は早期整備して欲しい。 <p><小菅・綾瀬川の西側地域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バスが全くなし不便。地域バス「さくら」の時間延長とシルバーパスの利用を可能にして欲しい。 ・綾瀬駅、小菅駅ともに足立区との境界部にあるためか、駅前整備が遅れている。 <p><小菅・綾瀬川の東側地域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活幹線道路の拡幅と併せて、4m未満の道路や、行き止まり道路を解消して欲しい。また、一方通行は減少させても良いのではないか。 <p><堀切></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域には細街路が多くあり、災害時の避難や緊急車両の通行を考えると、とても不安である。平和橋通りから綾瀬川方面へ抜ける道路が欲しい。 ・京成線の荒川橋梁架け替えと併せて、鉄道の高架化を堀切菖蒲園駅より先までつなげて欲しい。
	緑・オープンスペース・川	<p><お花茶屋></p> <ul style="list-style-type: none"> ・柳田公園の管理が悪く、子どもたちは使いづらいようだ。都営住宅のオープンスペースによく遊びに来ている。 <p><堀切></p> <ul style="list-style-type: none"> ・綾瀬川の景観（高架下）を改善して欲しい。ホームレスが多いのも問題。
	住宅・住環境	<p><小菅・綾瀬川の西側地域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路が地域を囲んでいるため、騒音、排気ガスへのさらにきめ細かい対応が必要だ。 ・広域避難場所まで遠く、お年寄りではとても歩ける距離ではない。歩ける場所に広域避難場所を備えて欲しい。 <p><堀切></p> <ul style="list-style-type: none"> ・荒川橋梁の架け替えと併せ、堤防の高さを確保して欲しい。今のままでは、荒川橋梁部から水があふれるのではないかと不安だ。
	その他	
	その他	<p><独自にアンケートを実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小菅 1 丁目では、独自にアンケート調査を実施した。是非読んでほしい。 <p><都市マス全体について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・金町に立地することとなった東京理科大は、都市のイメージアップにつながるのではないか。また、学生と地域との関わりについても、うまく考えていくと良いと思う。

2. 現都市マスの地域の将来像、基本方針に対する修正・追加事項

現都市マスの項目・内容		修正・追加事項
地域の将来像	堀切菖蒲園などの地域資源や緑・水辺を生かした、安全で快適なまち	
まちづくりの方針	地域の魅力を生かした歴史文化の薫販わいのあるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・小菅地区で進めているまちづくりの内容は、図面には概ね入っているようだ。 ・拘置所は小菅地区の歴史の一部なので、是非活かしたい。
	安全で緑あふれる快適な住環境の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・「安全」については非常に重要なポイントである。現行計画では、「安全」と「緑」が住環境を形成する要素として、一つの項目にまとまっているが、「安全」は一つの項目でしっかり記述した方がよい。 ・路地裏がもつ独特な景観や、通過交通が入り込まない道路など、守る部分としっかり整備する部分のバランスを考えてほしい。
	親水性の確保等による親しみの持てる川の復活	<ul style="list-style-type: none"> ・「堤防への桜の植栽」とあるが、現実的なのか。堤防の中には、余計なものを植栽してはいけないと聞いている。安全面を優先し、現実的な計画として欲しい。
	新規 1	<ul style="list-style-type: none"> ・形成本線荒川橋梁架け替えに伴い、高架化と堀切駅前地区の再整備について、できれば示してほしい。
	新規 2	<ul style="list-style-type: none"> ・治水安全性の向上、密集市街地の改善など地域の安全性向上について、一つの項目でしっかり示してほしい。 <p>(上記の新規 1 と併せて、堀切地区のみ治水安全性等を記述するかは要検討。)</p>

3. これからの街づくりにおける重要テーマ

テーマ	内容
地域らしさの維持と安全性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・当地域は大きな開発がなかったため、昔ながらのまちが残っている。道路幅が狭く、木造住宅が密集しているなど、防災面では不安はあるが、困った時に助け合える地域コミュニティや、通過交通が入りづらい道路空間、地域らしい路地景観などにつながっている。 ・地域らしさを残しながら、安全性を確保できる街づくりを進めたい。

葛飾区都市計画マスタープラン地域別まちづくり勉強会のまとめ
第2回勉強会

開催日時	平成21年9月6日 午後1時半～4時半
開催場所	ウィメンズパル 多目的ホール、視聴覚室
テーマ	地域において守り育てる点、改善すべき点 現都市マスの地域の将来像、基本方針に対する修正・追加事項 これからの街づくりにおける重要テーマ

1. 地域において守り育てる点、改善すべき点

守り育てる点	<ul style="list-style-type: none"> ・東京、新宿、成田等、新小岩駅を利用する鉄道利便性が高い。 ・高層住宅が未だ少なく、太陽光の恩恵を受け、緑も多少有り、住むには環境がよい。 ・南奥戸公園の大きな樹木、森永乳業の緑の空間、七曲がりの桜、 ・防災緊急避難場所として活用出来るスポーツセンター ・奥戸地区センター、スポーツセンター等、区民が交流出来る場が多くある。 ・公園が多くあり、便利に使っている。 ・新小岩駅の南北自由通路を使って、公園、運動場などと連携出来る。 ・堤防道路は信号が少なく早くて便利な道路であるので、大事にしたい。 	
改善すべき点	土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ・10階を超す高層住宅が多くなりつつあり、交通問題等に影響が心配 ・新小岩駅に快速が止まることをもっと活用する ・商業地に活気がない。 ・新小岩駅駅周辺の再開発の促進 ・蔵前通りが立体交差したが、沿道の商業施設（レストラン、ラーメン店等）が打撃を受けている。
	道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> ・新小岩駅の東南部に居住する者にとっては、駅広からダイレクトに鉄道を利用したい。 ・新小岩駅の駅前広場（南北）の改善 ・新小岩駅舎の改築、自転車駐輪場の整備促進、4つの広場の実現、南北・東西を結ぶ回遊性の創出。歩道橋なためバリアフリーになっていない。放置自転車が多い。 ・新小岩駅の橋上駅化する必要があるが、長いスパンで考えざるを得ない。 ・南北交通網の整備 ・幹線道路の拡幅による交通渋滞の解消。 ・歩道の段差が多い。 ・道路が狭く歩道がないため、歩行者が危険にさらされている。 ・平和橋東側の中川沿い土手通りの幅員が狭く、大変危険である（対面交通である） ・中川沿い土手の通りを自転車が安全に通行できるように広げる。 ・終バスが早く、タクシーに頼らなくてはならない。公共交通が不便である。 ・新金線の旅客化 以前検討したが、採算上難しい。

	<p>緑・オープン スペース・川</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅周辺は緑が少ない。 ・ 私学共済のスポーツ施設の地域開放と避難場所としての活用。 地域開放をしているが、値段がとても高い。 ・ 森永乳業が工場を移転し土地利用転換をする場合、その跡地については全面公園化し市民に開放することが望ましい。 ・ 中川の水辺をもっと活用する（観光ルート、水上バス等） ・ 中川の自然回帰（葦の原など） ・ 市街化区域内農地は貴重であるので、現実的な保全の方法が必要。 ・ 校庭を芝生化出来ないか 管理面で大変である。 ・ 小学校跡地等の遊休地の緑化
	<p>住宅・住環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共・公益施設が少ない。 ・ 奥戸 3 丁目の防災用の貯水槽が臭い。
	<p>その他</p>	<p>< 防災 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水害の際の避難場所が近くにない。 ・ 水害に備えて、公園、学校等の公共施設や企業施設等の建て替え時に地盤を高台にする（例：新小岩公園）。また高層マンションの屋上を避難地とする。 ・ 奥戸 2 丁目地区には、消防自動車が進入できない道路がある。 <p>< 公益施設 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 西新小岩 4 丁目の上平井小から松上小までの地区（西 4-9、4-18、4-20）の地区は、公園、保険相談所、旧松上小の廃校あとなどの公有地が多いが、管理主体がバラバラなため、統一的な再利用、設備の更新等が必要。
<p>その他</p>		

2. 現都市マスの地域の将来像、基本方針に対する修正・追加事項

現都市マスの項目・内容		修正・追加事項
地域の将来像	駅周辺の魅力的な広域生活拠点の形成と水辺を活かした公園整備など環境に配慮した生き活きと暮らせるまち	
まちづくりの方針	魅力的で身近な広域生活拠点の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・新小岩駅周辺地区は、テナントコストが安く、交通利便性が高いことから、業務機能の誘導をもっと出来ないか ・新小岩駅の拠点性をもっと高める工夫が必要 ・駅南側商店街では来年より活性化に向けた勉強会を始める。
	親水性の高い文化・レクリエーション拠点の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・中川の活用をもっと考える（広域的な観光資源として） ・中川の水害の回避について、もっと言う必要がある。 ・中川の自然への回帰も重要
	行政・コミュニティ拠点との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校跡地の活用による公共施設の充実 ・公共公益施設の一体的マネジメントシステムの構築
	落ち着いたあな住環境の形成と防災性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・農地保全は重要だ。ただし、相続の際なくなる。実効性のある制度が必要。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・水害対策についてちゃんと記述する。

3. これからの街づくりにおける重要テーマ

テーマ	内容
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・やはり、中川の水害対策が第1